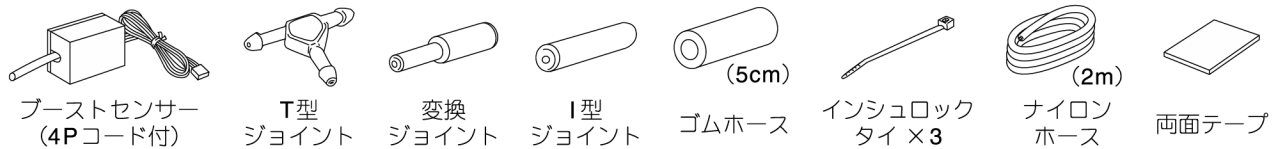


**SG-5BP 501用ブーストセンサー**

- 本品は、PIVOT 501 (5 in 1 GAUGE) で、ブーストセンサー信号をセンサー配管して接続するためのブーストセンサーです。
- SGシリーズ・GEKKOシリーズの各製品に取り付ける場合は、製品本体付属の取扱説明書をご覧ください。

■セット内容

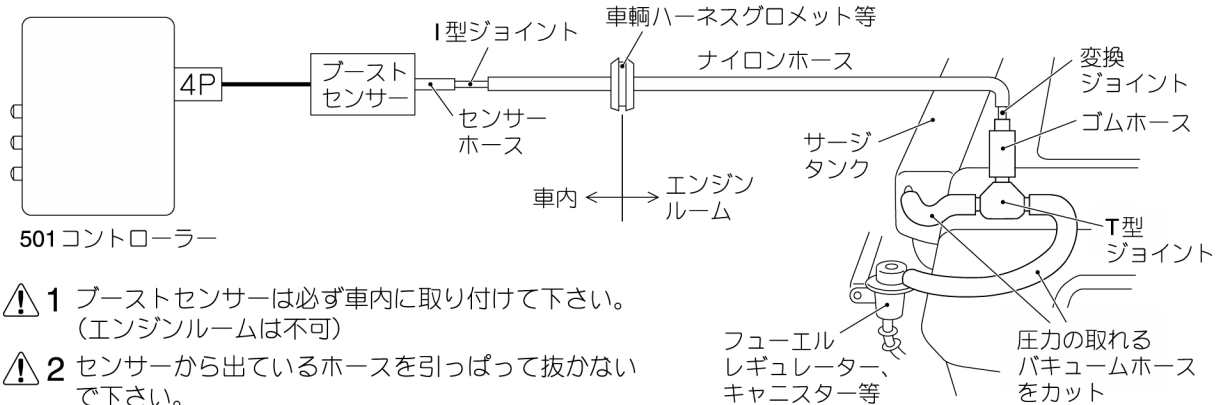


**作業上の注意**

1. 安全のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。(検電時は戻す)
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線の無いようご注意ください。

配線接続方法

※ブーストセンサー以外の配線接続については省略してあります。501取説本文と併せてご覧ください。



- ⚠ 1 ブーストセンサーは必ず車内に取り付けて下さい。(エンジンルームは不可)
- ⚠ 2 センサーから出ているホースを引っぱって抜かないで下さい。

■取付手順

- ①エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ている、圧力の取れるバキュームホースを探します。  
(例:フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ②探し出したホースを適当なところでカットし、T型ジョイントを割り込ませます。
- ③ゴムホースの片側をT型ジョイントへ接続し、反対側へ変換ジョイントの太い方を接続します。
- ④ナイロンホースの片側を変換ジョイントの細い方へ接続し、反対側は車両ハーネスグロメット等を利用して車内へ引き込みます。
- ⑤引き込んだナイロンホースとブーストセンサーのホースをI型ジョイントを使用して接続します。(図B)
- ⑥ブーストセンサーの4Pカブラーコードを501コントローラーウラへ接続します。
- ⑦センサー本体は、両面テープで車内のジャマにならないところへ取り付けます。  
(プロアファンの吹き出し口近く等は避けて下さい。)

- ⚠ ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないか等をご確認下さい。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をして下さい。)

